

E-17 住まいの清浄に関する研究(オ4報)

ライオン家庭科研

○鈴木勲 久保田隆之 田中良平 藤井徹也

1. 目的. 前報までは住まいの汚れとして、細菌及びホコリを取り上げて報告したが、本報では、住まいの汚れの中で落とし難い汚れと考えられる換気扇汚れを取り上げて、汚れ(油)の性状変化を検討した。更に、油の性状変化と汚れの除去率についても、併せて検討した。

2. 方法. 市販のサラダ油を200°Cに加熱して得られた油を鉄板上に均一に塗布し、室温、及び45°C恒温室に保存して、経日による塗布油の性状変化を基準油脂分析法(日本油化学協会)に準じて、AV, SV, IV, POVについて測定した。

又、油汚れの除去率は、ウォッシュピリティテスターを用い、市販住まいの洗剤を汚れに滴下後、綿布でこすったときの汚れ落ちの程度を視覚判定した。

3. 結果. 室温、及び45°C恒温室に保存する期間が長い程、塗布油のAV, SVは増大し、IVは減少した。POVは経日初期に増大し、後、低下する傾向であった。

又、塗布油の性状変化は、室温よりも45°C恒温室に保存した方が、短期間で変化する度合いが大きかった。

更に、AV, SVが高くなる程、及びIV, POVが低くなる程、汚れの除去率が低下する傾向であった。